



Dairy Japan

2005年 11月号

NO.11

(11月15日発行)

デーリィ・ジャパン・ニュース

子牛の死亡による損失は700ドル/頭～ベル教授(コーネル大学)～

アラン・W・ベル教授(米国・コーネル大学)は10月24日、「21世紀の酪農産業の新たな課題と可能性」と題して酪農学園大学で特別講演を行った。講演のなかでアラン教授は、『米国の場合、乳牛(母牛)の死亡や廃用は分娩後～21日の間に65%の比率で生じている。子牛の死産、生後間もなくの死亡も8～12%となっている。この損失は700ドル/頭。管理を改善することで、淘汰率を35%から28%に、分娩間隔を12.9カ月に、初産分娩月齢を24～22カ月に、子牛死産率を8%から4%にすることを目標としている』と話した。



平成18年度生乳計画生産対策の基本方針は“生乳需給に対応させて抑制”

指定団体会長・実務責任者会議は11月8日、平成18年度生乳計画生産対策の基本方針を決定した。平成18年度の計画生産対策基本方針のキーワードは「生乳需給」。

低迷する飲用需要や脱脂粉乳在庫の削減、バター在庫の積み増し防止を考慮して、基本的に生産を抑制する方向で決定した。

1. 基本的な考え方

(1) 平成18年度生乳計画生産は、生乳市場における取引と価格の安定を図るとともに、生乳需給の緩和状況に的確に対応し、バターを含めた乳製品在庫のこれ以上の積み増しを回避する観点から、生乳の出荷を国内の生乳需給に対応させて適切に抑制することを基本とする。

(2) (1)の基本的な考え方に基づく計画生産を円滑に推進するため、わが国における多様な生乳生産条件に十分に配慮し、酪農生産基盤の弱体化を極力将来しないようにするとともに、各地域の異なった取引条件のなかでも実行可能な需給調整の仕組みを導入することによって、全国協調的な取り組みを実施する。

(3) 生乳出荷の必要な調整を図るため、地域や個別経営の実情に応じて適切な生乳出荷抑制対策を実施するものとし、やむなく生産が超過した場合には、当該指定団体の責任において、超過生乳を輸入調製品と置き換えるか自主保管を実施する仕組みとする。

詳しくはデーリィ・ジャパンホームページへ

www.dairyjapan.com

現場の知恵&工夫

～最新号よりつまみ読み～

ません棒の上に草架 - 群馬県H牧場 -

群馬県H牧場は繋ぎ牛舎。濃厚飼料は自動給飼機で多回給与。粗飼料は手作業で朝夕給与するほか、ません棒の上に、2頭に1個ずつ草架を自作し、乾草を自由採食させている。「とにかく草をたくさん食べてもらい、ルーメン発酵を好調に維持して牛を飼いたいから」というのがその理由。

分娩牛、クローズアップ牛群の様子をTVカメラで観察 - 北海道I牧場 -

北海道根室管内のI牧場では、分娩房のある乾乳牛舎にテレビカメラを設置して、住宅のテレビから牛たちの様子を観察できるようにしている。このカメラは周囲360度を映し出すことも、ズームアップすることもできる。だから住宅にいながらにして夜間でも、分娩兆候、分娩の様子などがよく観察できる。「夜寝る前は必ずテレビで観察しています」とIさん。

画像はホームページ「DairyJapan / ちょっと立ち読み」のコーナーで公開いたします

DJニュースの部分(1ページ目)がご不要の方はFAX番号をご記入の上、弊社までFAXにてご連絡ください。

FAX番号

利益をもたらす後継牛を育てるために

【書籍】 2005年8月発行 B5判 104頁 定価3,500円(税・送料込み)

あなたの酪農場の近未来を担うのは、哺育・育成牛たちです。健康的・効率的に育成して、将来の生産性を高めるための知識と技術情報が満載です。本書籍を読み実践すれば、2年後にはあなたの農場がもっと活気付くこと間違いなし!!

～寒冷ストレス～

子牛にとって寒冷ストレスは重大なダメージを与えます。子牛の最適気温は15～28℃です。21日齢未満の子牛にとっては、気温が15℃以下になった場合、寒冷ストレスによって体温を維持するためにさらなる発熱が必要となります。また21日齢以上の牛にとって、正常な生理的活動が行える最低温度(下限臨界温度)は約5℃です。このように子牛は寒さに対しては非常に弱いのです。(本文中より抜粋)

新版：乳牛の病気 119番
～症状・原因・治療・予防が分かる～

【2002年10月臨時増刊号】 B5判 140頁 定価3,800円(税・送料込み)

ご好評をいただいた1994年発行の「乳牛の病気119番～こんな時にはどうするか～」を全面的に改定。現場で見られる疾病を、症状・原因・治療・予防に分けてやさしく解説。佐藤繁獣医師(宮城共済連)著。

*****注文書(黒色ボールペンで明記の上、この用紙ごとFAXしてください)*****
見積書・納品書ご希望の際は、その旨お知らせください。まとめてご購入の際は、ご相談ください。

《注文冊数》

利益をもたらす後継牛を育てるために _____冊

新版：乳牛の病気 119番～症状・原因・治療・予防が分かる～ _____冊

臨時増刊号はセットでご購読の方は月末に送本されます。お間違いのないようご注意ください。

お名前:(フリガナ)

(課: _____ 担当者名 _____)

ご住所:〒 _____

TEL / _____ FAX / _____

e-mail / _____ メルマガを申し込む x

お支払い方法(いずれかにをつけてください)

- 1 一括払い(商品と一緒に郵便振替用紙を同封します。郵便局から送金してください)
2 農協から控除/組勘 (農協名: _____)
3 クレジットカード VISA MasterCard カード有効期限[(月) _____ / (年) _____]
カード番号(16桁)[_____]

(株)デーリィ・ジャパン社 〒162-0806 東京都新宿区榎町75番地

TEL03-3267-5201 FAX 03-3235-1736 E-mail:milk@dairyjapan.com

ホームページリニューアル!!「支局だより」公開中

www.dairyjapan.com

このFAXが不要な方はをつけて送信してください。

